

STT072-P03

会場:コンベンションホール

時間: 5月27日17:15-18:45

## InSAR解析手法を用いた強震時の地盤変動検出

### Detection of geo-disasters triggered by strong ground motion using InSAR analysis

齊藤 隆志<sup>1\*</sup>

Takashi Saito<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup>京都大学防災研究所

<sup>1</sup>DPRI, Kyoto Univ.

地震発生に伴う地表面変位の出現には、地殻変動によるものと、局所的な地形・水文・地質・地盤条件によって現れる地すべり・斜面崩壊・地盤沈下などがある。これまで、沖積地の旧河道部分付近に、液状化が起こることや、既往の地すべり地が再活動するなどの事例が報告されているが、その地表変位の検出方法は、地割れの分布を地図に落とすなどにとどまり、広域で定量的かつ均質なデータを用いて、局所的な地表変位と関連づける研究はほとんどなかった。2007年能登半島地震では、SAR干渉解析結果を用いて、地盤沈下や地すべりの再活動を検出できることを示した。ここでは更に、SAR解析結果を詳細に見ると、比較的大きな河川の沖積地に流入する支流のつくる扇状地、河道の付け替えによる旧河道部、支流の付け替え部や人工的な盛土などの地形的な履歴を有する箇所に、地表変位を示す解析結果が得られていたので、この点を詳細に報告する。

キーワード: InSAR解析, 強震時地盤変動, 地すべり

Keywords: InSAR analysis, strong ground motion, landslide, slope failure